

研修概要とプログラム（令和5年度）

1. 研修期間は、「必修科目研修期間 68 週」と「選択科目研修期間 36 週」の計 104 週とする。
2. 研修期間を通じて、月 5～6 回程度の救急当直（副直）を、上級医・指導医のもとで行い、救急患者に対するプライマリケア能力を養成する。
3. 必修科目及び研修期間は次のとおり。

【内 科】	28 週
【救急部門】	12 週 救急科 12 週 { 1 年次 6 週、2 年次 6 週}
	※他に、2 年間を通じて実施する救急外来研修（救急当直）及び E R 症例合同カンファランス（隔週）を実施する。
【外 科】	4 週
【小児科】	4 週
【産婦人科】	4 週
【精神科】	4 週
【麻酔科】	4 週
【地域医療】	4 週（2 年目以降に実施）
【整形外科又は脳神経外科】	4 週
【一般外来研修】	一般外来研修は、総合診療科、小児科の選択制とし 4 週間、小児科外来又は内科外来において、一般外来研修を行う。また、地域医療研修においても可能であれば一般外来研修を行う。
4. 選択研修は、保健・医療行政、名古屋市立大学病院の呼吸器・アレルギー・リウマチ科、血液・腫瘍内科、総合内科・総合診療科、心臓血管外科、リハビリテーション科、その他名古屋市立大学病院及び豊川市民病院プログラム責任者が認めた診療科、豊橋ハートセンターの心臓血管外科、日本医科大学の高度救命救急センター、藤田医科大学病院の小児科、救急総合内科、麻酔科、その他藤田医科大学病院及び豊川市民病院プログラム責任者が認めた診療科、当院の全診療科の中から、臨床研修の到達目標を達成するために、2 週間以上の期間を単位として、研修医が積極的に研修プログラムを選択する。
5. 早期より専門研修に特化することを希望する場合は、2 年次に単一診療科を連続 36 週研修することも可能である。
また、多くの診療科で研修を行う、スーパーローテート方式の選択も可能である。

6. ローテート例

必修

選択

【例1】

1年目							2年目				
※	内科	麻酔	外	小児	精神	救急	産婦	地域	救急	整形	自由選択科目
※	28	4	4	4	4	4	4	4	4	4	36

※内オリエンテーション研修の2週を含む

【例2：スーパーローテート方式】

1年目							2年目												
※	内科	外	麻酔	救急	小児	内科	精神	地域	産婦	整形	救急	放	泌	眼	耳	脳	児	産	外
※	28	4	4	6	4	4	4	4	4	4	6	4	4	4	4	4	4	4	4

※内オリエンテーション研修の2週を含む

7. 研修を行う診療科では、プライマリケアに必要な高いレベルの教育を行い、指導医からのフィードバックを絶えず受けながら、多くの症例が経験できる。
8. 研修を行う診療科のローテート表は、研修医の希望と各診療科の受け入れ体制をマッチさせ、臨床研修プログラム部会で作成する。
9. 臨床研修プログラム部会では、定期的に研修医・指導医双方の多角的評価を集約し、それぞれにフィードバックする。また、研修医・指導医・コメディカルらの意見を集約し、適宜研修プログラムの点検・改定を行っていく。
10. 研修評価は、臨床研修管理委員会が行い、最終的な修了判定を行う。研修修了の認定後に修了証書を授与し、研修修了医籍登録を行う。研修修了後、引き続き、後期臨床研修を行い、専門医等の資格取得をめざすことも可能である。